

小児看護学実習／3学年

1. 実習目的

小児の成長発達についての理解を深め、健康障害や入院が小児と家族におよぼす影響を理解し、病児や保護者に対する適切な看護と指導を行える能力を養う。

2. 実習目標

- 1) 小児各期の生理および成長発達の過程を理解する。
- 2) 小児の成長発達に影響する諸因子を理解し、発達段階に応じた援助ができる能力を養う。
- 3) 病児の疾患、発達段階および個別性をふまえて看護を計画的に実践し、評価する能力を養う。
- 4) 疾病が小児におよぼす身体的、社会的、精神的影響を理解し、保護者の協力や社会問題を認識して看護にあたる重要性を学ぶ。
- 5) 小児及び保護者に適切な保健指導を実施し、社会資源の活用について学ぶ。
- 6) 3歳児健康診査の実際を見学し、成長発達段階及び健診の必要性を学ぶ
- 7) 実践した看護を振り返り、自己の課題を明確にして看護観を深めることができる。
- 8) 医療チームの一員として看護師の役割を自覚し、責任ある行動をとることができる。

3. 実習内容

	一般目標	行動目標	実習内容
小 児 科 病 棟	<p>1. 小児期にある児の特徴をふまえ、対象を理解する。 (実習目標1、2)</p> <p>2. 受け持ち患児の特徴・健康障害の状況を理解し、問題解決に向けた看護計画を立案できる。 (実習目標1、2、3)</p>	<p>1) 小児各期の特徴をふまえ、対象の発達段階を述べることができる。</p> <p>2) 入院が小児や家族におよぼす影響を述べるができる。</p> <p>1) 受け持ち患児の成長・発達段階、疾病の病態生理、症状、検査、治療・処置について述べるができる。</p> <p>2) 受け持ち患児の基本的欲求の充足状況について述べることができる。</p> <p>3) 受け持ち患児の日常生活、</p>	<p>(1)受け持ち患児の成長発達段階の観察と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形態的発達 体温・身長・頭囲・胸囲・身体各部の割合・生歯・骨の発達・身体発育の評価 ・機能的発達 呼吸・循環・血液・体温・消化・水分と電解質・神経系・免疫 ・精神運動機能発達 感覚・運動・情緒・社会性・知的機能の発達 言語・精神発達の評価 <p>(1)生育歴、家庭環境等 (2)乳児期の入院に伴う問題 (3)幼児期の入院に伴う問題 (4)学童期・思春期の入院に伴う問題 (5)小児の入院に伴う家族の問題 (6)小児、家族の疾患についての理解状況</p> <p>(1)成長・発達段階 (2)病態生理 (3)健康障害の段階 (4)治療方針・治療内容</p> <p>(1)基本的ニードの観察 (2)基本的欲求の充足、未充足</p> <p>(1)入院前、入院後の生活</p>

小 児 科 病 棟	<p>3. 小児の成長・発達段階に応じた日常生活の援助について理解する。 (実習目標 2, 3, 4)</p>	<p>基本的な生活習慣の自立状況について説明することができる。</p> <p>4) 受け持ち患児の状態や症状にあわせて、健康回復への適切な援助ができる。</p> <p>5) 受け持ち患児の家族に対して適切な援助が考えられ、一部実践できる。</p> <p>1) 小児に適した環境を整えることができる。</p> <p>2) 発達段階に応じた食事の援助ができる。</p> <p>3) 排泄の援助ができる。</p> <p>4) 睡眠の援助ができる。</p> <p>5) 清潔と衣生活の援助ができる。</p> <p>6) 移動及び活動の援助ができる。</p> <p>7) 患児に適した遊び(学習)の援助ができる。</p>	<p>(2) 食事、排泄、清潔、睡眠、衣生活等の自立状況 (3) 家族の教育方針</p> <p>(1) 健康段階(急性期、慢性期、回復期、終末期) (2) 成長発達段階に応じた援助(情報の解釈・分析、問題点の明確化、計画立案、実施、評価・修正)</p> <p>(1) 入院に伴う問題への対応 (2) 保健指導</p> <p>(1) 病棟の構造・設備、規則、日課の把握 (2) ベッドの種類とリネン (3) 温度、湿度、照明他 (4) 危険物への配慮</p> <p>(1) 食事の環境 (2) 必要な栄養素、カロリー等 (3) 食事摂取状況・食事量の観察 (4) 必要時食事介助 (5) 食習慣形成への援助 (6) 食事制限のある小児への援助</p> <p>(1) 排泄状況の観察 (2) 排泄習慣形成への援助 (3) おむつ使用時のおむつ交換</p> <p>(1) 睡眠状態の観察 (2) 睡眠環境の整え方 (3) 睡眠習慣(入眠時のくせ等)</p> <p>(1) 全身の観察 (2) 患児に適した方法の選択 (3) 清潔習慣形成への援助 (4) 適切な衣服の選択 (5) 衣服の着脱の観察</p> <p>(1) 成長・発達段階に見合った移動の方法 (2) 成長発達段階・健康段階にあった活動への援助</p> <p>(1) 成長発達段階に応じた遊びの選択 (2) 健康段階に応じた遊びの工夫 (3) 成長発達段階に応じた学習指導</p>
	<p>4. 病児の援助に必要な小児看護の基礎</p>	<p>1) 小児看護に必要な基本技術、診療時の援助技術ができる。</p>	<p>(1) 乳児、幼児、学童のバイタルサイン (2) 乳児、幼児の身体計測</p>

小 児 科 病 棟	<p>的技術を身につける。 (実習目標 2)</p> <p>5. 小児の安全を守るために必要な援助を理解する。 (実習目標 2)</p> <p>6. 小児の継続看護における看護者の役割を理解する。 (実習目標 4、5、8)</p> <p>7. 小児看護師として必要な態度を身につける。 (実習目標 7)</p>	<p>1) 小児の発達段階に応じて起こり得る事故を予測でき、事故を防ぐ援助ができる。</p> <p>1) 受け持ち患児を通して小児の継続看護の必要性が述べることができる。</p> <p>2) 小児の継続看護に関わるメンバーと、看護者の役割、連携の方法が述べることができる。</p> <p>1) 小児看護を通して、自己の態度を振り返ることができる。</p>	<p>(3) 診察の介助 (4) 治療・検査時の援助</p> <p>(1) 小児の発達段階と起こりやすい事故の理解 (2) 事故の予防</p> <p>(1) 小児における継続看護の意義</p> <p>(1) 小児の継続看護に関わるメンバーと看護者の役割 (2) 社会資源の活用方法</p> <p>(1) 小児の反応と自分の行動との関連について考察する</p>
小 児 科 外 来	<p>1. 外来を訪れる小児と家族の心理について理解し、小児と家族の看護について学ぶ。 (実習目標 1、2)</p> <p>2. 小児の外来診察時の看護の役割を学ぶ。 (実習目標 1、2、5)</p> <p>3. 外来で処置を受ける小児の看護について理解する。 (実習目標 1、2、4)</p>	<p>1) 健康障害をもつ小児の家族の心理を理解し、必要な援助ができる。</p> <p>1) 小児の安全を守るために必要な環境を整えることができる。</p> <p>2) 小児看護に必要な基本技術や診察時の援助ができる。</p> <p>3) 乳児健診の必要性が理解でき、介助ができる。</p> <p>1) 処置時の小児・家族への看護の必要性について述べることができる。</p> <p>2) 予防接種の時期・内容について理解でき、小児・家族への援助と看護者への介助ができる</p>	<p>(1) 親と子の絆 (2) 待合室での親と子に対する看護 (3) 継続看護</p> <p>(1) 小児の発達段階と起こりやすい事故の予防 (2) 感染の予防 (3) 乳児・幼児の身体計測 (4) 乳児・幼児のバイタルサイン (5) 診察時の介助 (6) 乳児健診 ・頭囲・胸囲・身長・体重測定 ・カウプ指数の計測 ・K₂シロップの与薬と指導 ・反射の観察、保健相談・指導</p> <p>(1) 点滴・注射時の親への援助 (2) 点滴・注射・採血時の固定方法 (3) 処置・検査時の援助 ・吸入・浣腸・坐薬挿入等 ・E E G・C T・E C G・心エコー ・X線撮影</p> <p>(1) 予防接種 ・予防接種の種類と実施方法 ・予防接種の一般的注意事項 ・予防接種の対象年齢</p>

3 歳 児 健 康 診 査	3歳児健康診査の実際を見学し、成長発達段階及び健診の必要性を学ぶ。 (実習目標6)	1) 3歳児健康診査の必要性が理解できる。 2) 3歳児における成長発達段階について述べるができる。 3) 家族に対する保健指導の必要性が理解できる。	(1) 健診の手続き方法 (2) 問診の実際 (3) 身体計測 (4) 医師・歯科医師・歯科衛生士・看護師・保健師・栄養士による保健指導の実際 ・ 歯科診察、歯科相談 ・ 小児科診察 ・ 育児相談 ・ 栄養相談 (5) 社会資源の活用 (6) ミーティング参加
---------------------------------	--	---	---

4. 実習時間 (単位)

総時間 90 時間 (2 単位)

- 1) 臨地実習 (病棟・外来) 63 時間
- 2) 3歳児健康診査 (釧路市こども保健部健康推進課) 6 時間
- 3) 学内実習 21 時間 (0.46 単位)

(1) 学びの共有と知識の確認

目的：臨地での学びを深める。

内容：①実習グループごとに担当教員と共にミーティングを行い、援助の方向性について話し合い翌日の援助につなげる。

②受け持ち患者の看護を実践するために不足している学習を進める。また、技術練習の機会とする。

③教員の指導のもと、看護計画の立案や修正、実習の記録を整理する。

(2) 実習施設についての学習

目的：3歳児健康診査の概要を学び、3歳児の成長発達段階や保健師の役割について知る。

内容：施設オリエンテーションの実施と3歳児健康診査の手順についての説明を行う。

※小児科病棟実習9日間のなかで小児科外来実習を経験する。

日時については決まっていないが、病棟の状況に合わせ流動的に外来実習を行う。

※3歳児健康診査は実習施設の日程の都合上、病棟実習期間中とは限らない。

実習期間及び時間

	9:00 ～ 9:45	9:45 ～ 10:30	10:30 ～ 11:15	11:15 ～ 12:00	12:00 ～ 12:45	13:45 ～ 14:30	14:30 ～ 15:15	15:15 ～ 16:00	16:00 ～ 16:45	16:45 ～ 17:30
1 日目	臨地実習			臨地実習			学内実習			
2 日目	臨地実習			臨地実習			学内実習			
3 日目	臨地実習			臨地実習			学内実習			
4 日目	臨地実習			臨地実習			学内実習			
5 日目	臨地実習			臨地実習			学内実習			
6 日目	臨地実習			臨地実習			学内実習			
7 日目	臨地実習			臨地実習			学内実習			
8 日目	臨地実習			臨地実習			学内実習			
9 日目	臨地実習			臨地実習			学内実習			
3 歳児健 康診査	学内実習			臨地実習						

5. 実習方法

1) 小児科病棟

- (1) 患児一人を受け持ち、看護過程を展開する。
- (2) 小児看護に必要な基本技術・診療時の援助技術を経験する。
- (3) 実習中に入院患児（許される患児）を対象にレクリエーションを計画し実施・評価する。
但し、レクリエーションはその場で簡単にできる遊び又はその場にある物を利用した遊びを工夫する。
- (4) ネームはキャラクター等をフェルトで作成し、エプロンの胸当てに縫い付ける。

2) 3歳児健康診査

- (1) 実習内容について、自主的に見学し学ぶ。
- (2) 服装はパンツスーツとし、エプロンを着用し、作成したネームを縫い付ける。
- (3) カンファレンスで、見学実習での学びを発表する。

6. 実習記録

1) 小児科病棟

- (1) 実習記録は様式を参照し、実習ノートを作成する。
- (2) 実習記録は実習終了後、記録内容を整理し、実習終了の翌日に提出とする。

2) 小児科外来

- (1) 実習記録は援助したことを経時で記録する。

3) 3歳児健康診査

- (1) 実習1週間前に、自己学習をファイルに綴り担当教員へ提出する。
- (2) 実習終了翌日に、実習記録と見学実習を終えての学びをノートに整理し担当教員へ提出する。

7. 実習評価

小児看護学実習評価表を用いて評価。

小児看護学実習評価表

項目	評価対象	評価基準 5点	評価基準 4点	評価基準 3点	評価基準 2~0点	点数
1	実習ノートの全体	小児の成長発達段階について情報を収集し、記載している □ 形態的発達(身体各部の発達、運動、神経系、免疫機能の発達) □ 心理的発達(呼吸、循環、消化、水分と電解質、免疫) □ 精神運動発達(感覚、運動、情緒、社会性、知的機能の発達) □ 言語・精神発達の評価	小児の発達段階について形態的発達、機能的发展、精神運動機能的发展のうちの十分な項目が1項目ある。	小児の発達段階について形態的発達、機能的发展、精神運動機能的发展のうちの十分な項目が2項目ある。	小児の発達段階について情報を収集して、記載しているが、記載せずアドハイスを求めている	0
2	小児の特性	入院が小児や家族に及ぼす影響について記載している □ 小児・家族の疾患について理解状況 □ 食事、排泄、睡眠、衣生活等の自立状況	入院が小児や家族に及ぼす影響について記載しているが、十分な項目が1項目ある	入院が小児や家族に及ぼす影響について記載しているが、十分な項目が2項目ある	入院が小児や家族に及ぼす影響について記載しているが、十分な項目が3項目以上ある	0
3	1 身体検査	受け持つまでの経過を全て記載している □ 既往歴 □ 現在病歴 □ 主症状 □ ワクチン接種状況 □ 家族歴 □ 治療方針 □ 看護方針	受け持つまでの経過を記載しているが、十分な項目が1項目ある	受け持つまでの経過を記載しているが、十分な項目が2項目ある	受け持つまでの経過を記載しているが、十分な項目が3項目以上ある	0
4	2 小児の病歴	入院前の日常生活を以下の項目に沿って情報収集している □ 食事 □ 嗜好 □ 睡眠 □ アレルギー □ 排便 □ 清潔 □ 身体検査 □ 1日の過ごし方 □ 性格 □ 趣味 □ 補助具 □ 身体検査 □ 家族歴 □ 看護方針 □ 看護方針	入院前の日常生活について、左記のすべての項目について情報を収集しているが、十分な項目が1~3項目ある	入院前の日常生活について、左記のいくつかの項目について情報を収集しているが、十分な項目が4~8項目ある	入院前の日常生活について、左記のいくつかの項目について情報を収集しているが、十分な項目が9項目以上ある	1
5	3 小児の病歴	ハンダーソンの看護理論に基づき4項目の2~3項目の枠組みを用いて全ての項目の2~3項目の枠組みを用いて情報を整理している	ハンダーソンの看護理論に基づき4項目の2~3項目の枠組みを用いて情報を整理しているが、十分な項目が1~3項目ある	ハンダーソンの看護理論に基づき4項目の2~3項目の枠組みを用いて情報を整理しているが、十分な項目が4~8項目ある	ハンダーソンの看護理論に基づき4項目の2~3項目の枠組みを用いて情報を整理しているが、十分な項目が9項目以上ある	2
6	4 小児の病歴	対象の病歴(症状・検査・治療・処置)について図や表を用いてわかりやすく整理している	対象の病歴(症状・検査・治療・処置)について図や表を用いてわかりやすく整理しているが、十分な項目が1~2項目ある	対象の病歴(症状・検査・治療・処置)について図や表を用いてわかりやすく整理しているが、十分な項目が3項目ある	対象の病歴(症状・検査・治療・処置)について図や表を用いてわかりやすく整理していない	2
7	5 小児の病歴	関連図において必要な情報の記載があり、看護計画に反映させている	関連図において必要な情報の記載があり、看護計画に反映させているが、十分な項目が1~3項目ある	関連図において必要な情報を記載しているが、十分な項目が4項目以上ある	関連図において必要な情報を記載しているが、十分な項目が5項目以上ある	2
8	6 小児の病歴	優先順位を決定している	優先順位は決定しているが、優先順位に反映していない部分がある	優先順位は決定しているが、優先順位に反映していない部分がある	優先順位は決定しているが、優先順位に反映していない部分がある	2
9	7 小児の病歴	小児の病状や日常生活行動レベルを把握し、個別性を考慮した看護目標を設定できている	小児の病状や日常生活行動レベルを把握し、個別性を考慮した看護目標を設定できているが、十分な項目が1~3項目ある	小児の病状や日常生活行動レベルを把握し、個別性を考慮した看護目標を設定できているが、十分な項目が4~8項目ある	小児の病状や日常生活行動レベルを把握し、個別性を考慮した看護目標を設定できているが、十分な項目が9項目以上ある	2
10	8 小児の病歴	小児や家族の心理をふまえて、健康状態や成長発達段階に応じた看護計画の立案ができている	小児や家族の心理をふまえて、健康状態や成長発達段階に応じた看護計画の立案ができているが、十分な項目が1~3項目ある	小児や家族の心理をふまえて、健康状態や成長発達段階に応じた看護計画の立案ができているが、十分な項目が4~8項目ある	小児や家族の心理をふまえて、健康状態や成長発達段階に応じた看護計画の立案ができているが、十分な項目が9項目以上ある	1
11	9 小児の病歴	看護計画は、具体的な看護目標を記載している	SWIHCにはなっていないが、解決策は具体的に記載している	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が1~3項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が4項目以上ある	1
12	10 小児の病歴	看護計画は、具体的な看護目標を記載している	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が1~3項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が4~8項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が9項目以上ある	1
13	11 小児の病歴	看護計画は、具体的な看護目標を記載している	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が1~3項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が4~8項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が9項目以上ある	1
14	12 小児の病歴	看護計画は、具体的な看護目標を記載している	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が1~3項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が4~8項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が9項目以上ある	0
15	13 小児の病歴	看護計画は、具体的な看護目標を記載している	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が1~3項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が4~8項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が9項目以上ある	1
16	14 小児の病歴	看護計画は、具体的な看護目標を記載している	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が1~3項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が4~8項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が9項目以上ある	0
17	15 小児の病歴	看護計画は、具体的な看護目標を記載している	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が1~3項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が4~8項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が9項目以上ある	0
18	16 小児の病歴	看護計画は、具体的な看護目標を記載している	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が1~3項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が4~8項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が9項目以上ある	0
19	17 小児の病歴	看護計画は、具体的な看護目標を記載している	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が1~3項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が4~8項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が9項目以上ある	0
20	18 小児の病歴	看護計画は、具体的な看護目標を記載している	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が1~3項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が4~8項目ある	看護計画は、具体的な看護目標を記載しているが、十分な項目が9項目以上ある	0